

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 報告書

NO. 4

委員会日	5/5/2020	開催時間	10時～
付議事項	1. 各種団体の影響調査（2日目）		
内 容	<p>■ 山陽商工会議所</p> <p>●会員数433事業所のうち、3月は1割の事業者から主に融資の相談を受けている。日本政策金融公庫の実質無利息の申し込みがほとんどである。4月は雇用調整助成金の相談が増え、累計14社の相談を受けている。最近増えているのは持続化給付金である。現在3社の相談を受けている。今後、県の10万円の持続枠が始まると思うが、商工会議所が窓口になるのではないかと引き続き金融関係の申請支援を行っていきたい。</p> <p>●1点目の山陽小野田市中小企業融資制度における支援の拡充（利子補給）について、山陽小野田市中小企業振興資金では保証料を全額市が負担しているが、利子は1.8%である。公庫の実質無利息の制度が始まったので、利子補給をしてもらいたい。2点目は大きな影響のある事業所への売上確保に向けた支援（ランチ、持ち帰り食事類への補助などの支援策）について、団体客を中心とした店は大きな影響を受けているため、テイクアウトに係る費用の補助をしてもらいたい。3点目の山陽小野田市独自の補助金等の支援は、市独自に家賃補助、持続給付金の山陽小野田市版などの補助事業や、市税の減免又は猶予措置及び延滞金減免である。4点目は事業所への各種情報提供として、雇用調整助成金説明会の開催、個別相談会の開催支援、国・県・市の補助金や各種経営安定資金などの支援等の情報提供をお願いしたい。</p> <p>●金融、労務に精通している者に業務が集中している。連休中も午後は開所して、相談を受けている。</p> <p>●各種制度の情報はホームページに掲載しているが、分かっていない会社が多い。実際に話をしながら説明しないと理解が難しいのではないかと。</p> <p>●各種制度を周知してもらうには、市が全ての事業所を把握しているのであれば、全社に文書を送付すればいいのではないかと。</p> <p>●食品関係の小売、理美容、貸衣装業、介護、食品製造、酒造会社、食品販売、歯科医などが相談に来ている。影響があると思う。</p> <p>●工務店から資材が入ってこないという話はあった。建設業者から、5月まで大丈夫だが、6月以降仕事が入ってこないのでは心配というのを聞いた。</p> <p>●マスクが足りないという声があるが、商工会議所も入手できないので、市にお願いできればと思っている。消毒液も市にお願いしている。</p> <p>●ゴルフ場は、半減していると聞いている。雇用調整助成金の説明会にも来ていた。企業などの団体客が来ないと聞いている。</p> <p>●山野井工業団地の製造業の企業からは大きな影響について聞いていない。</p> <p>●駅前のホテルの客は減ってはいるが、客はそれなりに来ていると聞いている。</p>		

■ 山陽小野田市社会福祉協議会

●緊急小口資金等は申込から順調に行くと1週間程度で貸付を受けられる。児童クラブについて、3月3日から春休みまで、8時から18時まで開所した。市から支援員として給食調理員16名の派遣を受けた。利用自粛のお願いをしたところ、利用者は通常の半分程度だった。春休み中は普段の長期休み程度の利用があった。4月16日から再度学校が休業となったが、これ以上、朝から社会福祉協議会独自で開けるのは難しいと判断し、午前中は学校内で居場所を作り、児童クラブは13時から18時の開所とした。利用自粛をお願いした結果、利用者は半分程度であった。5月1日から24日までは、児童クラブは休所としているが、やむを得ない場合は預かっている。体制は4月16日以降と同様で、5月1日の利用者は約3割だった。

山陽オートレース場の食堂は無観客開催なので、閉鎖し、従業員6人には休業手当、今は法で定められている平均給与の6割相当を支給している。これが長引けば、雇用調整助成金の活用も検討する必要がある。困るのは、これを機会に辞める従業員が出ることで、食堂の運営が続けられなくなる。

中央福祉センターの浴室は休館前までは1日60～70人程度の利用者がいたが、5月24日まで休止している。

お年寄りとかのサロンも中止であり、ずっと家に閉じこもっていることで心身ともに疲れているのではないかと。地域で支え合う地域体を作ろうとしていたときにコロナが発生した。コロナに対抗するような地域福祉事業を社会福祉協議会としても考えていきたい。

●生活福祉資金の貸付制度の利用者は飲食業、花屋、工場の休業など困っている方から相談が多い。

●地域福祉関係については社会福祉協議会の方針が決まってから、市に相談したい。児童クラブについては今の対応で維持できるように配慮をお願いしたい。今後、貸付の増加などで職員の増員が必要となった場合、配慮をお願いしたい。時間外手当などの人件費がもし必要にときには市から支援いただきたい。融資の相談はいきなり来られるのではなく、事前に電話での相談をまずお願いしたい。

●グリーンヒルは通常どおり運営しているが、市内で感染者が発生したときから利用の自粛をお願いしている。

●職員の勤務は、在宅勤務を導入し、振休や有休を使うことにしている。時差出勤も考えたい。職場が密にならないように対応している。

●支援員については、必要な人件費については市から予算を付けてもらうようになっている。資格がある職員は960円、研修を受ければ20円上がる。

●生活福祉資金と緊急小口資金貸付の両方の貸付を受けられる。

■ 小野田商工会議所

●会員数は990程度である。

●3回のアンケートの回収数は、1回目が140、2回目が54、3回目が97である。

●従業員を解雇したというような情報は今のところはいっていない。

●営業を自粛している業者数は調査していない。全てではないが把握しているのは45社である。そのうち27社がサンパークである。

●デリバリーを6か月限定でタクシーで配送できるということで、事業者からやりたいという声があれば、積極的にバックアップしたい。

●エール飯のサイトは会員と職員が協力して作っている。飲食業が一番影響を受けているので市にもお願いしている。

■私立幼稚園連盟

●それぞれの園がコロナ対策を行い、2号認定のやむを得ない人のみ自由登園している。約10%から30%の児童が登園している。国から保育園に対しての言及はあるが、幼稚園に対しての言及はない。市内で感染者が出たので送迎や給食をやめているので、運転手や調理員に対しての補助があればよい。各園どのように対応しているか把握してないが、困っているだろう。県からは3月に50万の補助があり、マスクや消毒液、空気清浄機等を購入した。マスクは園児に配布した。

●教育・保育の無償化により、在籍していれば、登園しなくても保育料は給付される。送迎や給食を中止しているので、その費用は入ってこない。自分のところは送迎が月13万円ぐらいで、調理員は3人で一人8万から9万円ぐらいである。

●自分の園は、これ以上感染者が出なければ、市内の感染者が判明してから2週間経過した日が5月10日なので、それ以降、濃厚接触者の感染が出なければ、それから考えたい。小学校が24日まで休校なので、それ以降段階的に正常に戻していきたい。

●マスクや消毒液は3か月分はある。

●情報は学事文書課や県の私立幼稚園協会からも入る。状況は変化しているので、細々とした指示はない。

●現在の状況が好転したときは、通常に戻し、夏休みも通常どおりとしたい。学校教育と違い、幼児教育は遊びを通じて学ぶので、あれをこれを教えないというものでなく時間が遅れているというものもない。

●来ていない園児の状況を把握するために、先生が電話連絡したり、はがきを出したりしている。他の園は分からない。職を失った人に対する補助のことが話題になるが、よく分からない。教えてもらいたい。

■山口県建設労働組合小野田支部

●小野田支部の構成人数は去年の数字で587人である。

●組合員は日当なので、休みが続くとどうなるか懸念している。材料が入りにくいので、工期に間に合わないという問題がある。リフォームは減っている。

●建築申請が特例で緩和され、品物がないので完成しないトイレや給湯関係も外してお金を受け取ることができる。でも、リフォームはそれがないから困っている。

●市内在住の一人親方は380人ぐらいである。

●大工、左官、鉄工が多く、一番多いのはとび職である。

●コロナ感染予防と感染対応マニュアルの提供、組合員の周知徹底が出ているが、そういうものは全部配っている。

●市内の組合員の平均年齢は60歳前ぐらいだと思う。

- 手続きが煩雑なので、そこを何とかしてもらいたい。手続きが難しいので途中でやめてしまう。
- 社会保険労務士と顧問契約を結んでいる。組合員に何かあったら社会保険労務士に相談しなさいと伝えている。
- 災害協定を結んでいるが、このような状況で災害が起こったらどうするのか。